

川島町水道事業 令和5年度上半期 業務状況について

令和5年度上半期(令和5年4月1日～9月30日)の、川島町水道事業の業務状況をお知らせします。

1 業務量 (前年度同期との対比)

		9月30日現在 (a)	前年度同期 (b)	(a)(b)対比	
				増減(c=a-b)	比較(c/b)
給 水 人 口		18,936 人	19,229 人	△ 293 人	△ 1.52 %
給 水 件 数		8,308 件	8,187 件	121 件	1.48 %
総 配 水 量		1,359,785 m ³	1,336,700 m ³	23,085 m ³	1.73 %
有 収 水 量		1,280,747 m ³	1,302,219 m ³	△ 21,472 m ³	△ 1.65 %
有 収 率		94.19 %	97.42 %	△ 3.23 ポイント	△ 3.32 %
受水量 内 訳	県 水	792,647 m ³	797,981 m ³	△ 5,334 m ³	△ 0.67 %
	吉見町水	4,654 m ³	4,773 m ³	△ 119 m ³	△ 2.49 %

業務量用語の解説

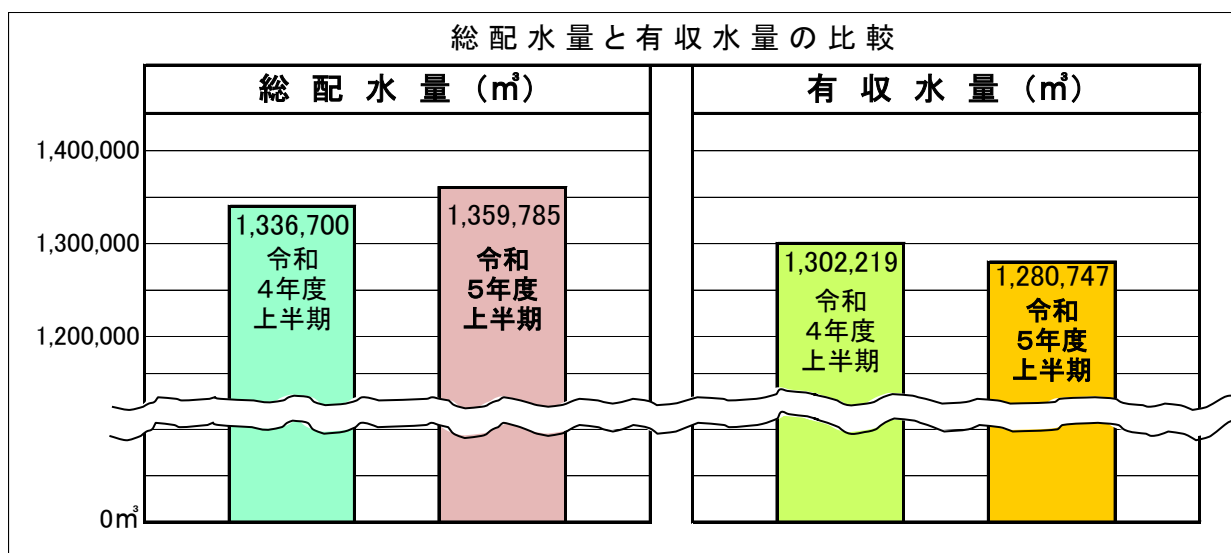
「総配水量」 町内の浄水場から水を送り出した量です。

「有収水量」 町内の各家庭や事業所などで使用した水の集計です。

「有収率」 配水量に占める有収水量の割合です。

この値が低いと、配水管などで漏水が発生し水が無駄になっていることが考えられます。また火災での消火栓使用や、水の濁り防止のための放水によっても変動します。

「受水量」 水道に供給する水の一部について、埼玉県営吉見浄水場から県水を購入し受水しています。また一部の地域については、吉見町水道事業から水を購入しています。



業務量について

総配水量は増加し、有収水量は減少したため、有収率も減少しましたが、他市町に比べ高い水準を維持しています。

今後も漏水の早期発見と修繕に努め、有収率が低下しないよう努力いたします。

2 当期中における経理の状況

(1) 資金の収支状況

前年度繰越金	613,864,421 円
入金	274,021,503 円
出金	322,639,634 円

当期末現在高
(現金預金残高) 565,246,290 円

※ 当期末現在高は前年度繰越金より
48,618,131 円 減

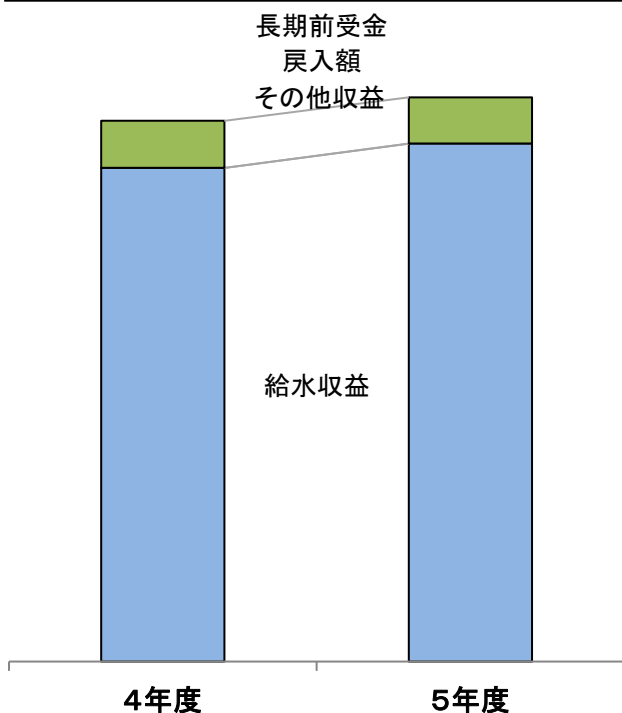
(2) 予算と事業収支状況

○ 収益的収支 浄水場設備の運転や維持管理、配水管の修繕、検針などに 使う予算です。

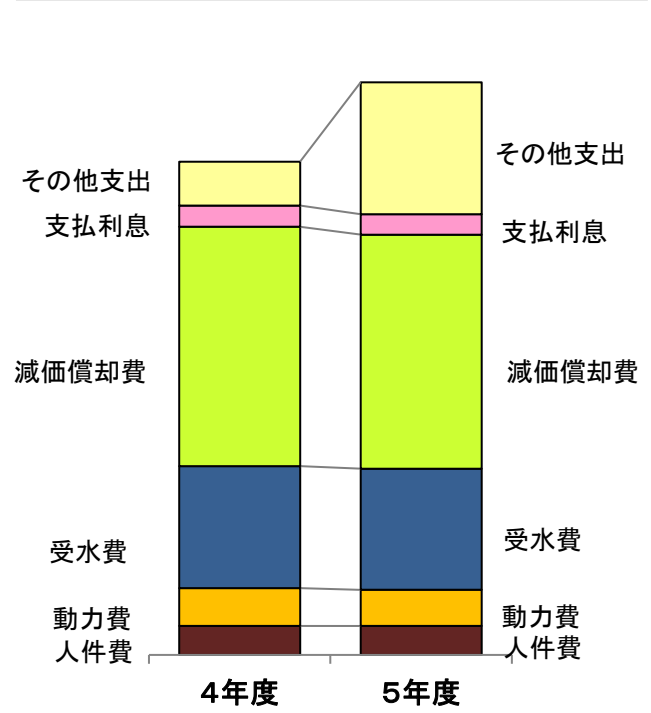
		予算額 (千円)	実績 (a) (千円)	予算 執行率 (%)	前年度同期 実績 (b) (千円)	前年度同期 からの増減 (千円)	増減 率 (%)
収 入	給 水 収 益	383,641	195,736	51.02	186,537	9,199	4.93
	そ の 他 収 益	13,490	563	4.17	500	63	12.60
	長期前受金戻入額 (当期予定分)	34,994	17,497	50.00	17,803	△ 306	△ 1.72
	合 計	432,125	213,796	49.48	204,840	8,956	4.37
支 出	人 件 費	24,261	10,942	45.10	10,951	△ 9	△ 0.08
	動力費 (電気料)	39,000	13,657	35.02	14,298	△ 641	△ 4.48
	県水等受水費	117,250	45,820	39.08	46,126	△ 306	△ 0.66
	減価償却費 (当期予定分)	176,971	88,486	50.00	90,482	△ 1,996	△ 2.21
	支 払 利 息	16,729	7,706	46.06	8,031	△ 325	△ 4.05
	そ の 他 支 出	97,165	49,870	51.33	16,628	33,242	199.92
	合 計	471,376	216,481	45.93	186,516	29,965	16.07

消費税込額

収益的収入
令和5年度上半期と令和4年度同期 比較



収益的支出
令和5年度上半期と令和4年度同期 比較

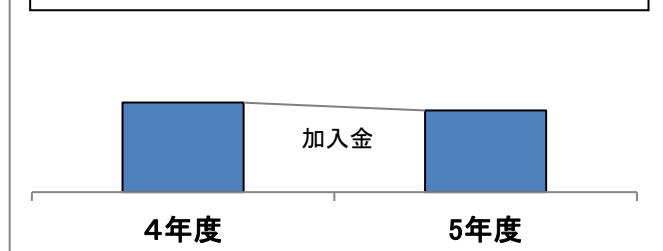


○ 資本的収支 配水管や、浄水場施設などの新設・更新費用、企業債の償還に使用する予算です。

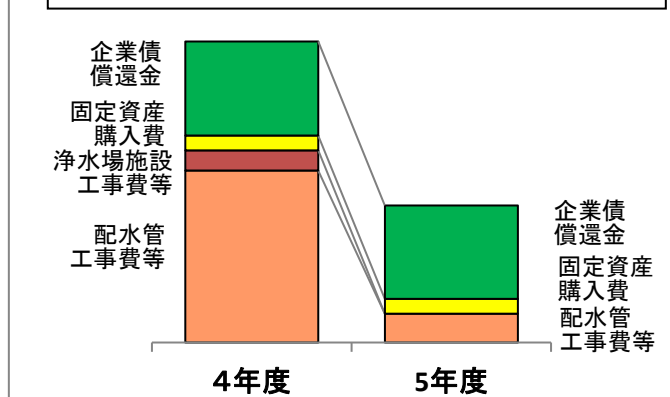
消費税込額

		予算額 (千円)	実績(a) (千円)	予算 執行率 (%)	前年度同期 実績(b) (千円)	前年度同期 からの増減 (千円)	増減率 $\frac{(a)-(b)}{(b)}$ (%)
収 入	負担金	2,802	0	0.00	0	0	0.00
	加入金	10,425	4,428	42.47	4,802	△ 374	△ 7.79
	企業債	169,000	0	0.00	0	0	0.00
	国庫補助金	39,455	0	0.00	0	0	0.00
	その他	2	0	0.00	0	0	0.00
	合計	221,684	4,428	2.00	4,802	△ 374	△ 7.79
支 出	配水管工事費等	225,386	8,252	3.66	49,119	△ 40,867	△ 83.20
	浄水場施設工事費等	40,475	0	0.00	5,800	△ 5,800	△ 100.00
	固定資産購入費	11,812	4,242	35.91	4,192	50	1.19
	企業債償還金	53,657	26,686	49.73	26,918	△ 232	△ 0.86
	合計	331,330	39,180	11.83	86,029	△ 46,849	△ 54.46

資本的収入
令和5年度上半期と令和4年度同期 比較



資本的支出
令和5年度上半期と令和4年度同期 比較



収益的収支・資本的収支 用語の解説

「長期前受金戻入額」

過去に施設の建設や固定資産を取得などの財源となった国庫補助金や負担金を、減価償却の割合に基づき収益的収入に計するもので、当年度に現金が入ったわけではありません。

「減価償却費」

施設の使用による資産的価値の減少を、耐用年数に基づく割合で毎年度の収益的支出に計上するもので、外部へ支払うものではありません。

「加入金」

住宅などの建築で水道を新設するときなどに水道事業に納めていただく額を、「加入金」といいます。設置する水道メーターの口径ごとに金額が異なります。

「企業債」「企業債償還金」

施設の新設や更新工事の財源とするための国などからの借金を、「企業債」といいます。「企業債償還金」は、各年度の返済額のうち、元金分です。利息は収益的支出で支払います。

収入について	支出について
<p>収益的収入は有収水量が減少したが工業用水の使用量が増加しており、給水収益が微増した。 資本的収入は前年度の同時期より減少しています。</p>	<p>収益的支出が前年度同時期より増加しています。これは、現在使用している井戸の状態を調査するためです。 資本的支出は前年度の同時期より減少していますが、発注の遅れが生じていたためであり、前年度と同程度になる見込みです。</p>
<p>前年度の同時期と比較した増減については、1年を通してみますと解消されるものもあります。一方、人口減少や施設の老朽化については、年を追うごとに水道事業経営への影響が増していきます。事業を実施する中でコスト削減を図りつつ、計画的な施設の更新を行うなど、長期的視野に立った健全な水道事業の運営に努めます。</p>	